

「月見ヶ丘海浜公園」にて防災パネル展示を開催します ～来るべき南海トラフ巨大地震に備えて～

東日本大震災から2年9ヶ月が経ちました。

この大災害の記憶と教訓を県民の方々と共有することで、地域の防災力を高め、四国において、近い将来に発生するとされている南海トラフ巨大地震へ備えるため、防災パネル「来るべき巨大地震に備えて」及び東日本大震災の津波により被災した道路附属物の展示を以下の通り開催します。

「月見ヶ丘海浜公園」は、徳島阿波おどり空港の南側に整備された月をモチーフにした公園で、昼間はスポーツや散策に、夜はお月見やコテージでの滞在などに利用されております。

■開催所及び開催期間

開催場所	開催期間	備考
「月見ヶ丘海浜公園」ビジターセンター (別紙1参照)	平成25年12月19日(木)～平成26年1月9日(木) 9時半～21時半 (休館日:12月24日(火)、1月6日(月))	無料

■展示物(別紙2-1, 2-2参照)

- ・防災パネル「来るべき巨大地震に備えて」
- ・東日本大震災の津波により被災した道路附属物

なお、昨年12月から県内20会場にて当該パネル展示等を順次開催し、来場者からは、「損傷した標識等を(実際に)見てテレビでは分からなかった津波の破壊力を実感した。」「防災について色々考えていかなければという思いです。」などの感想を頂いています(展示風景:別紙3参照)。

引き続き、県内各地においてパネル及び津波被災物の展示を開催していく予定です。

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所
徳島県

* 本施策は、四国圏広域地方計画、「No.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」、
「No.6 防災力向上プロジェクト」の取組みに関連します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

副所長(道路) 兵頭 英人 (ひょうどう ひでと) TEL : 088-654-2211

○道路調査第一課長 藤田 裕士 (ふじた ゆうじ) TEL : 088-654-9612

徳島県 県土整備部 道路局

○高規格道路課長 新居 敬幸 (にい よしゆき) TEL : 088-621-2671

○主な問い合わせ先

●「月見ヶ丘海浜公園」へのアクセス



●ビジターセンターの外観



●防災パネル「来るべき巨大地震に備えて」の一例

■南海トラフ巨大地震

巨大な地震・津波

巨大な地震・津波が発生。四国の95市町村のうち58市町村で震度7以上の揺れが予測されています。また太平洋沿岸部の市町村では、最大津波高が30mを超える津波の襲来が予測されています。

●地震震度分布

●津波の最大値と1mの到達到達時間

国土交通省 四国地方整備局

■南海トラフ巨大地震

甚大な被害想定

四国地域においては、最大死者数9万5500人、経済被害32.4兆円の被害が想定されています。

南海トラフ巨大地震の経済被害想定 32.4兆円

国土交通省 四国地方整備局

■南海トラフ巨大地震

津波により道路が寸断

沿岸部では、巨大津波による浸水で国道55号・56号などの現道が寸断され、孤立地域が発生します。

●津波浸水箇所

国土交通省 四国地方整備局

■東日本大震災の被害の状況

地震により道路が崩壊

宮城県から福島県以南に南北に走る国道6号は、地震により道路の段差やひび割れが発生し、道路が寸断されました。

福島県広野町 崩壊した国道6号

国土交通省 四国地方整備局

■東日本大震災の被害の状況

津波により橋が流出

三陸沿岸部を貫く国道45号は、巨大津波により、橋桁が流出し、道路が寸断されました。

宮城県南三陸町 国道45号 橋桁が流出した歌津大橋

国土交通省 四国地方整備局

■防災・減災の取組

四国版くしの歯作戦

緊急輸送道路の確保
災害発生時には、一刻も早く瓦礫を取り除いて道を切り開き、負傷者の救命や救護物資の輸送ルート確保する必要があります。
四国においても「四国版くしの歯作戦」を展開し、緊急輸送道路を確保します。

●四国版くしの歯作戦

STEP1 地域の緊急輸送の進入ルートとなる県庁域の避難ラインを確保

STEP2 避難ラインから太平洋沿岸部等へ伸びるための避難ラインの確保

STEP3 避難ラインから太平洋沿岸部以外のラインを確保

国土交通省 四国地方整備局

■防災・減災の取組

緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) の出動

TEC-FORCE による被災地域の支援活動
TEC-FORCE は、全国の地方整備局等の職員で構成され、河川や道路、港湾等の専門家として被災地の公共団体等に対し、被災状況の調査、被害の拡大防止、被災地の早期復旧の支援を行います。

東日本大震災による河川堤防の被災状況調査

四国地方で大規模災害が発生した場合、全国からTEC-FORCEが集結し、支援が行われます。

国土交通省 四国地方整備局

■防災・減災の取組

「道の駅」の防災拠点化

「道の駅」における防災機能
災害時に道路利用者や住民の一時避難場所、さらには防災拠点として機能するよう非常用自家発電設備やトイレの水源確保を進めています。

災害情報・通行止情報等提供する道路情報提供装置

高知県四万十町 「道の駅あくり窪川」

建物の耐震化

72時間電源供給可能な非常用自家発電施設

トイレ等の水源確保

北越 貯水罐

国土交通省 四国地方整備局

■防災・減災の取組

避難を促す 海拔表示シート

海拔高さ情報を道路に明示
道路の標識柱等に海拔 (TP) 標識「海拔知〜る」を設置しています。地域住民や道路利用者等の防災意識を高め、地震、津波発生時の避難行動等の目安になります。

海拔知〜る 海抜からの高さを知ることにより安全な避難場所や避難経路を確保するための、海拔表示したシートを道路沿いの標識等に貼り付けています。

国土交通省 四国地方整備局

●東日本大震災の津波により被災した道路附属物の一例



規制標識「駐車禁止」



視線誘導標

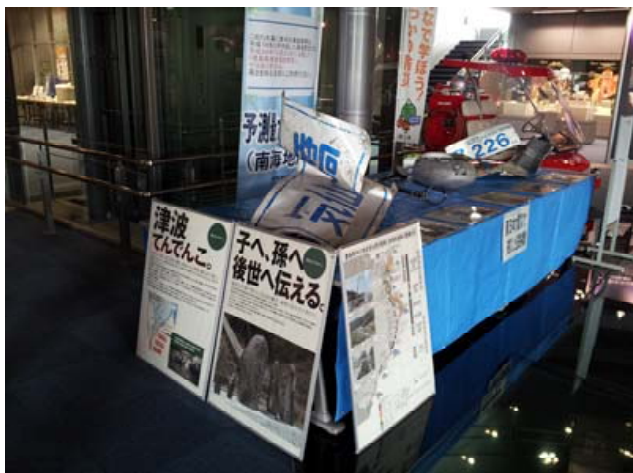


道路照明灯(灯具)



小型標識「距離標」

●各会場における展示風景



徳島県立防災センター



徳島阿波おどり空港



徳島市役所



牟岐町海の総合文化センター



アスティ徳島



四国弁護士会主催シンポジウム

上記の他、美波町役場、海陽町役場、鳴門市役所、小松島市役所、阿南市役所、松茂町役場、北島町役場、藍住町立藍住東小学校、藍住町役場、徳島県庁、つるぎ町「織本屋」、まぜのおかオートキャンプ場、とくぎんトモニプラザ、一般国道55号阿南道路開通式典にて開催しました。